

柏尾の風



横浜市立柏尾小学校

学校便り

7月号

令和5年6月30日

誰もが安心して豊かに！

校長 古沢昇一

5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症防法上の位置づけが2類相当から、季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げられ約2か月が経ちました。夏が近づいてきたこともあり、マスクを外す子どもたちが少しずつ増えてきましたが、マスクを外すことに抵抗がある子どもも多くいます。3年前まではマスクをしないことが当たり前でしたが、この3年間はマスクをすることが当たり前となり、元に戻るまではもう少し時間がかかりそうです。5類に引き下げられたとはいえ、新型コロナウイルス感染症はまだまだ収まっています。私は今まで感染していませんでしたが、6月中旬に初めて新型コロナに感染しました。ワクチンを5回打ち、6回目の接種券が届き、いつ6回目を接種しようかと思っていた時に、まさかの感染となりました。39℃以上の熱が出て、味覚は影響ありませんでしたが、聴覚が少し変だなと感じました。久しぶりの発熱で、とてもつらい5日間でした。無事に学校に通勤できた時はとてもホッとしました。まだまだ、安心できない状況だと改めて感じました。7月には6年生が日光、9月に5年生が西湖、10月には4年生が上郷で宿泊学習があります。子どもが新型コロナに感染したとき等の場合は、大変ですが、保護者の方に現地まで迎えに来ていただくこととなります。対策をきちんと行い、無事に行ってきたいと思っています。

6月は新型コロナでしたが、5月の下旬に自宅近くの歩道橋を歩いていた時に、突如後ろからカラスに襲われました。後ろから突然来たので、危うく階段を踏み外すところでした。4月から7月はカラスが巣作りをしている季節で、カラスに襲われることが多いそうです。私は「カラスに対して何もしていないのに何故？」と今でも思っていますが、カラスから見ると、私がカラスに対して何かしらの脅威を与えたのだと思います。カラスは巣にいる自分の子どもを守るために必死で、私を襲ってきたのでしょう。このことで改めて次のようなことを考えました。「自分では何かしたという自覚がなくても、知らないうちに友だちを傷つけてしまうこともある。また、自分が楽しいと思ったことも、友だちは楽しいとは限らず、逆に辛いと思うこともある。」自分の考えを押し付けるのではなく、友だちとよく話をし、友だちの気持ちを大切に、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。学校では日々様々なことが起こりますが、全職員で全児童を支援・指導し、一つひとつ解決して「誰もが安心して、豊かに過ごせる学校」を目指します。よろしくお願いいたします。